

学び、 究め、 貢献する

[学章]



デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

1. 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を、舟は人類の幸福を意味するであろう。
1. 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。
総ての存在と活動、調和とバランスを意味するであろう。
1. 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。
また感性の豊かさや品位を意味するであろう。
1. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味する。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

[シンボルマーク]



デザイン 宮川ヒロミ氏

創立60周年を迎えた平成21年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐすすむことを祈念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

[理念]

岐阜の地は、清流の国と称される豊かな自然に恵まれ、東西文化が接触する地理的条件や歴史的な背景による多様な文化と技術を創造し、伝承してきた。岐阜大学は、岐阜の地のこのような特性を継承するとともに、「人が育つ場所」という風土の中で「学び、究め、貢献する」人材を社会に提供する。そして法人自体も「学び、究め、貢献する」地域にとけこむ大学であるべきことを理念とする。岐阜大学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開する。さらに、これらの成果を地域還元することなどにより、地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担う。

[目標]

1. 教育

岐阜大学は、学生の主体的な学びを推進し、教育の質保証システムを充実させ、高度な専門職業人の養成と地域単位でのTeach for Communitiesを実現する。理工系の大学院修士課程に、デザイン思考の教育を導入し、リベラルアーツに関する共通教育を重点的に行うことによってイノベーションを支える人材の養成を強く進める。また、国際水準の医学教育開発の推進などに重点的に取り組む。

2. 研究

岐阜大学は、教育の基盤としての質の高い研究活動をそれぞれの分野で着実に実践する。その中でも本学の強みである生命科学分野、環境科学分野、ものづくり分野における岐阜大学の独創的な研究領域の先進的研究拠点形成を目指し、その成果を社会に還元する。

3. 国際化

岐阜大学は、地域に根ざした国際化と成果の地域還元によってグローバル化を実現する。多文化共生型による国際教養コースの設置、日本人学生と留学生の混在型教育の充実、留学生の組織化や就職支援の充実など、国際化につながる施策を推進する。

4. 社会貢献

岐阜大学は、地域志向を重視した教育、研究を実践し、国際化を推進することにより地域社会を支える。特に「地」×「知」の拠点(COC)整備事業は、県内外の他大学、自治体、地元企業等との連携を拡大したCOCコンソーシアムを形成することにより、地方創生推進事業への取り組みを一層量的に増大、質的に深化させる。また、大学病院を中心とした地域における高度医療拠点機能のさらなる充実、岐阜県と連携した地域社会への貢献事業を推進する。

学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上でとても重要です。自ら進んで学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

- 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
- 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
- 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
- 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
- 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
- ICTの活用により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
- 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。日常生活、教育研究に取り組む姿、それらのすべてが学生に対する教育である。

- 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
- 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
- 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
- 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
- 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
- それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、『象牙の塔』という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

- 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
- 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
- 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
- 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
- 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
- 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
- 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、役員と教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

- 中期目標、中期計画を確実に実行する。
- 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
- 環境に配慮した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
- 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
- 外部資金の獲得に努め、財政基盤を強化する。
- 情報の透明性と公開性を重視するとともに、情報を適正に取り扱い、効率的かつ合理的な運営に活かす。
- 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。
- 学生の教学データ、教員の教育研究活動実績等は大学の財産であり、教育の質向上、研究の推進等に活用する。